

●新年初顔合わせ初笑いイベント 恒例の「七草摘みと七草粥」

1月5日（金）の13:00から七草摘みの前日準備を行いました。主な作業は七草かゆ用の竹の椀を作ることでした。出来るだけ太くて大きなお椀を目的に、元気な孟宗竹を切り出して節を底にした器にしました。1本の竹から約15個位は作り上げられるので、3



本を切り出して50個の椀を作りました。切り口の角をできるだけ丸く仕上げ、丁寧に切り揃えることに注意しました。2時間ほどで出来上がりました。次にお箸の竹の竹割作業です。手ごろな太さに揃えて割ることが出来なければ丸く使いやすいものに仕上げるのに手間がかかりますので大変でした。50人分100本の箸づくりには根気と粘り強いやる気が求められる作業でした。子供達も手伝ってくれましたが、丸山（小高い小山）の道を駆け回るなどという遊びは住宅地には無いので里山農園はそれが自在に可能なので、箸づくり取り組んでくれましたが、元気があふれた子供たちは山の遊びにすぐ飛びつきました。この日の朝から教育棟で書初めの取組をおとなしく楽しんだ後でしたので、元気があふれたのかもしれませんがね。

午後からは里山部会の植物部会の皆さんが駆けつけて七草の生育状況を調べて明日の案内ができるように調べていただきました。この日には総勢29人の皆さんが集まってくださって手早く用意が整いました。これまでだと3~4人がてんやわんやでの作業でしたが、見違えるように準備が進みました。

当日（1月6日）は小寒の入りで暦の上では寒さがいよいよ厳しくなってくるとされる時でしたが、比較的暖かで七草摘みには手ごろな暖かさでした。開会挨拶もそこそこにして七草摘みに出かけました。前日に調べておいていただきましたので早く見つけることが



が出来ました。近藤宏一さん伊藤千恵子さん、それに湯川幸子さん達が懸命に説明いただき、多くの方々が名前と実物を理解されたのではないのでしょうか。続いて菜っ葉を洗って刻みの作業です。播川さんが囃子歌を大声でリードされました。しかしお粥づくりが上手だったので大変美味しかったとのことで、伊藤さんの提供の黒米がゆ、太田さんの提供いただいた白米の七草粥、そして播川さんの提供の芋粥それぞれ食べ残すことなく完食となりました。特に芋粥は二つの鍋で作るという二倍の量でしたが思った以上の人気でした。続いて有田さんが手品と腹話術を披露されました。演題は「しょうちゃんの得意技」で、相手役の「しょうちゃん」人形が牛乳を飲みこむという場面では皆さんが仰天しました。さすが手品師である有田さんだと納得し大きな拍手が響きました。この日の参加者は箕面市や和泉市、奈良市、宇治市、城陽市などから参加をいただき大人19人子どもさん11人スタッフ10人合計40人がお越しいただきました。前日準備などを進めていただいた森島さんなどは大満足でした。また急遽能



登半島地震救援基金を伊藤さん夫婦が呼びかけていただき、翌日（7日）の9時過ぎに日赤能登半島地震災害義援金として郵便局から10,111円を振り込んでいただきました。七草摘み七草かゆイベントに参加いただいた皆さんは、正月早々大災害に遭い、この寒い冬空のもとで過ごさなければならぬ事態を他人事ではないと受け止めて、多額の基金を寄せていただき、翌日の朝早く振り込んでいただいたことをご報告します。



感想文 七草摘みと七草がゆ

昨日、七草に参加させて頂きありがとうございました。
家族みんな竹の器と箸で食べるのも、腹話術の人形劇も、初めての事だらけで、とても楽しい体験をさせて頂き感謝でした。
子ども達も野草を教えてもらい、摘んで、自分で刻んで、とても楽しかったそうで嬉しです。ありがとうございました♥

ななくさがゆや いろいろなしよくぶつのことがしれて たのしかった。

いろいろな食べられる七草があると分かりました。

2歳の娘は古代米？のおかゆが大好きでぱくぱくたべてました ひとりで七草をさがすのはなんにもしらないと相当難易度高いとおもいました。でも、いろんな知恵や知識がある方がいたので探せましたグーグルレンズというアプリが草や花の名前をしらべるのに良いというのを教えて頂けました。おかゆ食べて芸を見たあとしばらく 子どもたちはそのあたりをはしりまわってあそんで楽しい休日でしたありがとうございました。

七草摘みも、外でみんなできざんで食べるのも、全部初めてでとても楽しかったです。いつもいろんなイベントを考えてくださり、準備して下さる方々ありがとうございます

以前に参加した(10年前)に比べて立派になって驚いた。参考になれば七草の品が少なないように思います。また参加したいと思います

自分たちでつんだ野草をきざんでおかゆを作る体験、子どもも私も初めての体験でよい経験になりました。準備して下さった里山の会の皆さん、本当にありがとうございました。又、来年も参加したいです。

七草をつむの 初めてでした。難しく 手間がかかるのね。と知りました。美味しかったです。最後の芸をありがとう 子供達は大喜び

今日はありがとうございました。七草摘むというのも現代では貴重な経験を子供にさせてあげられ、また美味しい七草に感動しました。また、なにかあれば参加したいです。ありがとうございました。

実際に七草を採って、それをおかゆにして食べれる貴重な経験をさせて頂き誠にありがとうございました。

七草がゆ 最高においしかったです。子どもものびのび過ごせてよかったです。七草のいみもよく分かりました。また、来年もきたいです。休みの日にしてください。

●1月15日（月）みやこメッセで 印刷機メーカーの展示会 播川理事と山村が参加予定

印刷などの件で大きなご支援をお願いしているアヴィニールさんから1月15日に京都岡崎の旧産業会館で展示会があるのでと参加くださいとお誘いをいただきました。里山の会の印刷機は会誌印刷にほぼ10年間使用してきました。故障すれば交換する部品がなくなっているとのことです。保障期限が切れていて、更新時期に達しています。展示会には播川さんと山村が参加してみようと新年第2回目の事務局会議で決まりました。手頃なものが見つかるといいですね。

●2024年1月20日（土） 9:30~12:30 里山農園付近でクヌギの伐採と玉切り運び出し作業を実施

昨年は打田薪炭組合の植西千宇さんの指導をうけて炭焼き体験を実施したところ、多くの生産品が作れました。ベテランの感と技術のすばらしさが発揮されたのです。今年度（23年度）も原木の切り出しを1月20日（土）9:30分から里山農園付近のクヌギの大木の伐採を行います。そして枝を払い玉切り（1m強）の長さに切りそろえ炭焼き窯（打田）へ運び込みまで行う計画です。多くの皆様のご参加を呼びかけるものです。巨大なクヌギの伐採（幹回り直径50cm 15mの高さ以上）の伐採は迫力ある作業です。一度は身近で体験してほしいものです。ぜひ多くの皆様のお越しをお待ちしています。

●竹蛇籠の設置を2月3日・17日に計画 玉水浜 参加者募集中

昨年の生き物フェスタ（10月8・9日に植物園で開催）で製作した竹蛇籠を木津川本川で設置することについて淀川河川事務所の環境課長様から設置の許可の連絡が1月9日に電話で連絡が届きました。昨年の11月に6mの竹蛇籠に作り替えて準備をすすめてきましたのを、玉水浜15.2kmの右岸寄りに将棋頭状に設置することが正式に決定しました。木津川出張所長の酒井さんから玉石の運び込みはどうするかなどの協力のお話がありました。

又この取組みについて京都府自然環境課が多くの若者（学生）たちが経験をする良い機会だから共に取組みたいと申し込みがありました。初日の2月3日には竹門先生等による座学で2月17日には木津川本川右岸より15.2kmの玉水浜に設置して石詰め作業を行う計画で進めますのでよろしくをお願いします。



●京都府環境フェスタ 2月3日9:30 伏見区パルスプラザ

これまでコロナ禍で対面の取組みは出来なかったのですが、この度一日だけの計画ですが、再開されることになりました。里山の会は竹蛇籠の取組みとの2つのイベントになりますが、担当を振り分けて参加することに事務局会議で決定しました。展示出展内容は ①模擬店・活動内容の説明 ②体験活動・松かさツリーづくり ③体験活動・竹ペンづくりの3つの内容で参加しようと計画中です。広さに制限があって、どれくらい充実したもの出来るか心配ですが、まずは参加することが大事と考えています。スタッフとして応援参加をお願いします。